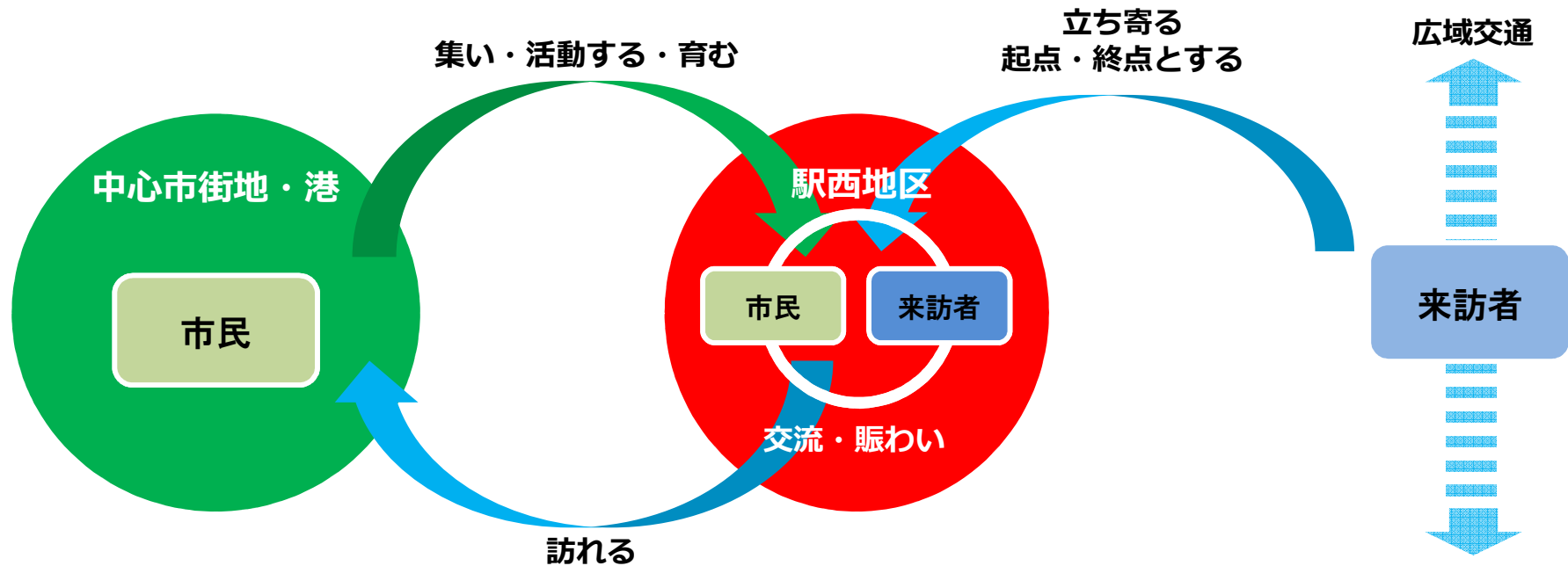

敦賀駅西地区土地活用事業 公共機能の方針

平成30年 8月
敦賀市

1. 対象地の果たすべき役割・位置付け

- 対象地は、来訪者にとっては氣比神宮、金ヶ崎エリアにいざなう「玄関口」、市民にとっては「普段使いの拠点」となり、それが結果として駅前に交流と日常的なにぎわいを生みだすことを目指す。
- 対象地は、敦賀市の今後の発展・成長を牽引していく極めて重要な土地である。



2. 上位計画に述べられている将来像・市民サービス

- 子ども、若年層、生産年齢世代への公共サービスの充実が目指されている。
- 図書館は、集客性の高さ、まちづくりの拠点としての位置付けがなされている。

計画の名称		市の将来像に関するキーワード
第6次敦賀市総合計画後期基本計画「敦賀市再興プラン」	概要	<ul style="list-style-type: none"> • 若年世代の流出抑制、子育て支援の充実 • 地元就職の促進、健康づくりの推進 • 敦賀市立看護大学の運営による高等教育への進学可能性確保 • 生産年齢世代への行政サービス・支援の重点化 • 広域的かつ一体的な経済圏・生活圏の構築
	第5章 心豊かな人を育むまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 地域づくり拠点としての公民館 • まちづくりの拠点としての図書館、集客性を活かしたまちづくり拠点の形成
敦賀市人口減少対策計画 —敦賀市地方版総合戦略—		<ul style="list-style-type: none"> • 将来世代が豊かに暮らすことができる都市の実現～現役世代から将来世代への贈り物～ • 子育て支援として保育園や支援拠点施設の運営といったソフト面の充実化を図る • 人材の育成の充実による若年世代の流出抑制

3. 先進地視察から得られた公共機能導入の視座

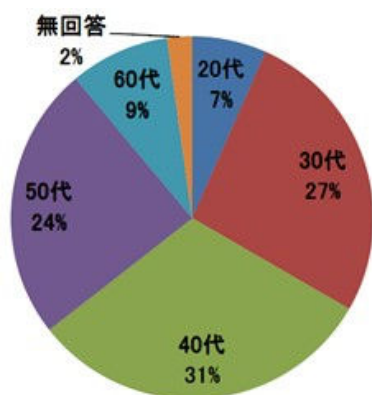
- 市民利用の促進、にぎわいの創出等の観点から先進地視察を行い、以下の知見を得た。

- 既存公共施設の移転・再編という発想ではなく、市民ニーズに合致した「市民が集う（集客）」施設という発想が重要。
- 次世代への投資、新たな魅力や価値の創造という視点が重要。
- 目的と対象を明確化する。
- 空間の創り方が重要。にぎわいのある施設は、公共施設／民間施設を問わず、居心地がよく、デザイン面での配慮がなされたスペースが提供されている。
- 居心地のよいスペースが提供されてる、本が読める、そこで気持ちのよい時間が過ごせる、簡単な飲食を楽しめる、友人と談話できる、そういったスペースが成功を収めているように思われる。

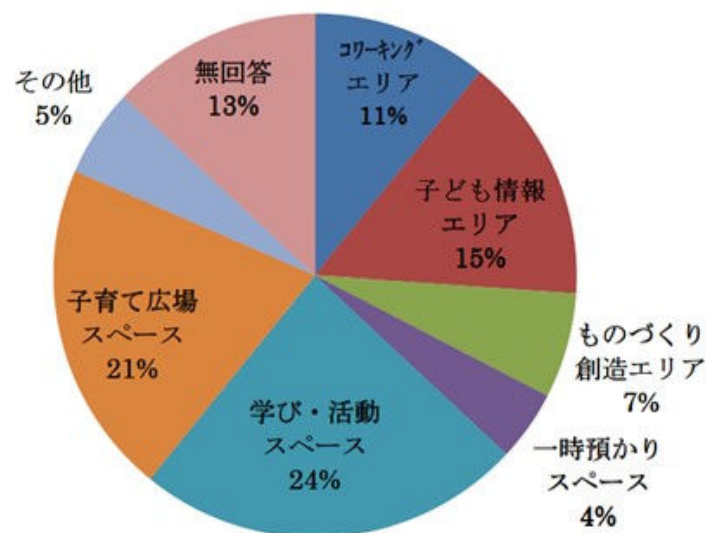
4. 市民フォーラムのアンケート結果概要

- 平成30年5月11日（金）に「敦賀駅西地区土地活用事業に係る市民フォーラム」を開催し、公共機能について以下の意見が挙げられた。

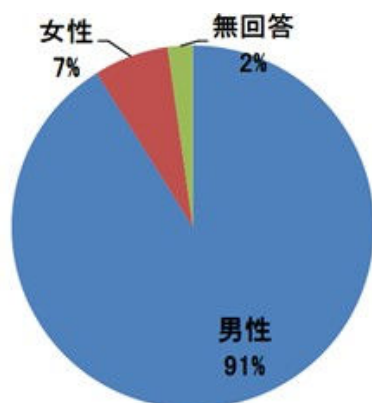
【参加者の年代別割合(N=45)】



【導入が望ましい公共（公益）機能】



【参加者の性別(N=45)】



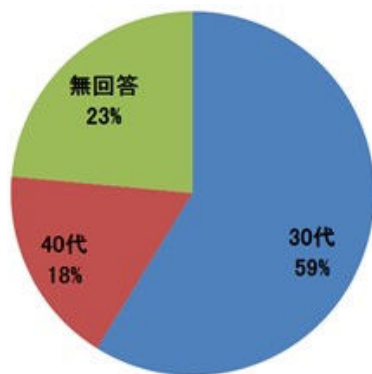
■ 自由意見

- 現在、学生の多くがオルパークを利用しているため、学生たちが利用できる図書館や学習スペースが望ましい。
- 子どもの「知育」は非常に素晴らしいが、高齢者の存在も忘れてはならない。
- どのような公共施設が市民に必要とされているか時間をかけて議論をしなければならない。

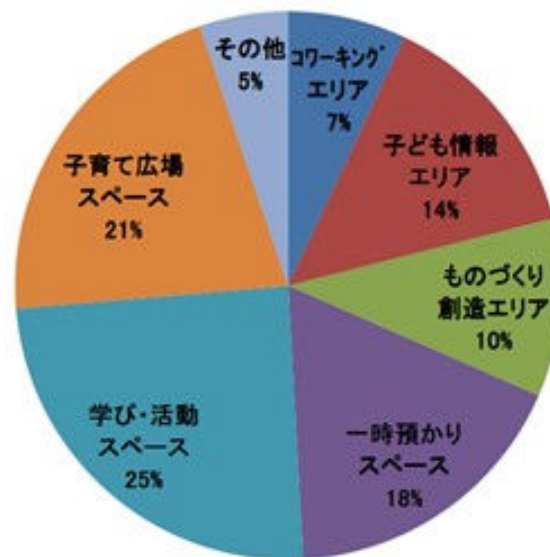
5. 意見交換会の結果概要①～アンケート結果

- 平成30年5月19日（土）に「敦賀駅西地区土地活用事業に係る意見交換会」を開催し、主に子育て世代の市民から、公共機能について以下の意見が挙げられた。

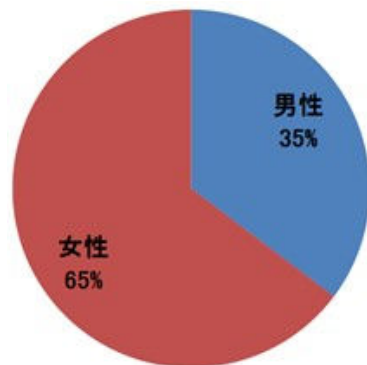
【参加者の年代別割合(N=17)】



【導入が望ましい公共（公益）機能】



【参加者の性別(N=17)】



■自由意見

- 天候不良時に子どもと過ごすことができる場所がほしい。
- 運動ができる常設スペースがほしい。
- さまざまな機能を含めた結果、一つの機能が小さくなるのは避けてほしい。
- 子どもだけではなく仕事を終えた人たちが趣味の一つとして行ける場所がほしい。

5. 意見交換会の結果概要②～グループディスカッション結果

- 平成30年5月19日（土）に「敦賀駅西地区土地活用事業に係る意見交換会」を開催し、全3グループによるグループディスカッションを行った。概要は以下のとおり。

テーマ	主な意見
普段の子どもとの過ごし方 （平日・週末）	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園、こどもの国、あっとほうむ等で遊ぶ：2グループ ・市内や県内で開催されているイベントに参加：3グループ ・週末は車で県外に出向く：2グループ ・本の読み聞かせ：1グループ ・お菓子作り：1グループ
子どもと時間を過ごす場所 に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> ・天候不良時に遊ぶことができる場所が足りない：2グループ ・スポーツに興味を持ってもらうため毎週末に違うスポーツ体験施設：2グループ ・動物園：1グループ ・珈琲店、カフェ（スターバックス・ドトール）：1グループ ・休憩スペース、地域の交流スペースが足りない：1グループ ・禁煙施設が足りない：1グループ ・ABC クッキングのようなガラス張りの料理教室：1グループ ・誕生会等のイベントを開催する際、貸しスペースの条件が厳しい：2グループ ・食物アレルギーのある人に対応した食事施設：2グループ
「知育」や「本」について、 やりたい活動・あったらよ いサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に大人が楽しめる絵本：1グループ ・気軽に飲食をしながら本を読むことができるスペース：2グループ ・無料で子ども向け映画が楽しめて、その間に大人がゆっくり本を読むことができるスペース：1グループ ・ネイティブの先生による英語の歌を聞かせてくれる時間：1グループ ・プログラミング教室の無料体験：1グループ ・各年代ごとに本のスペースを設ける（特に小さい子どもに絞った絵本スペース）：2グループ ・親も学ぶ姿を見せることができる場所：1グループ ・「鉄道のまち」をアピールできる施設：1グループ

6. 公共機能の基本方針

- 上位計画、関連計画に示されている将来像、先進地視察、市民フォーラム、意見交換会等を踏まえ、敦賀市の将来を担う本地区において、子どもや若者等、次世代の育成と、その世代を育てる生産年齢層向けに対して、以下に示す場の提供を行う。
- それにより、「賑わい」を創出するとともに、「学び」や「発見」を促すことで、将来の敦賀を担う人材を育てる／引き寄せることを目指す。

【公共機能の基本的な方向性】

- 子ども・若者・駅を行き交うビジネスマン等が、気軽に訪れ、書籍やその他メディア、また、ワークショップやさまざまな体験・イベントを通して、新たな学びや楽しみ・喜びを発見し、『敦賀で暮らすことが楽しい』と思える場
- キーワードとして、「情報、知的刺激、融合、自己啓発、学び、活動、余暇、日常、憩い、寛ぎ」等。



「知育・啓発機能」を公共機能として整備する

7. 知育・啓発機能の提供サービス・運営イメージ

■ サービスイメージ

- 「乳幼児～大学生の知育や学び」や「子育て世代の親・ビジネスマンの生活・趣味」に刺激を与える書籍や視聴覚メディア等に触れながら、気軽な談話・休憩・飲食を楽しめる場の提供。

■ 業務内容

- **書籍や視聴覚メディア等の選定、調達、設置、保存管理**
 - 「子ども向け、若者向け、子育て世代の生活・趣味」に特化した書籍や視聴覚メディア等を選定、調達した上で、利用しやすい形で設置する。
- **利用者に対する場の提供、受付、施設案内、情報提供**
 - 利用者に対して必要な情報を提供し、快適な利用を支援する。視察客等にも対応する。また、盗難やトラブルのないよう、対象施設を適切に管理監督する。受付の有無は事業者の提案による。
 - 飲食可能な場として管理する。
- **イベントやワークショップ等の開催（読み聞かせ、体験等）**
 - 利用者の知育や知的刺激、学習、趣味等に資するイベント（読み聞かせ等）やワークショップを企画し運営する。
- **広報、利用促進、ホームページの開設及び管理**
 - 利用者の増加や利便性の向上を目的として、本施設について情報発信する。利用者数や利用者属性等の情報を収集し、利用者の増加と満足度向上に努める。
- **清掃**
 - 本施設を清掃し、常に清潔な状態で維持管理する。
- **自主事業**
 - 書籍の販売、飲食物の提供や本施設の趣旨に沿った物品等の販売、サービスは自主事業として実施可能とする。

8. 知育・啓発機能の空間イメージ

■空間デザインの考え方

- 利用者にとって居心地がよく、良質で意匠性に配慮した空間デザインを目指す。

■整備するスペースのイメージ

- 整備するスペースのイメージは以下のとおり。

子ども情報スペース	<ul style="list-style-type: none">• 子ども向け、若者向け、子育て世代の生活・趣味等に特化した書籍や視聴覚メディア等を提供するスペース。• 利用者の属性ごとに、快適な閲覧スペースを整備する。• 書籍等の陳列においては、利用者の興味・関心を喚起するよう工夫する。
ものづくり創造スペース	<ul style="list-style-type: none">• ワークショップの開催や、工作機器の貸出等により、利用者が日常生活に密着したものづくりを楽しめるスペース。
コワーキングスペース	<ul style="list-style-type: none">• ビジネスマンの仕事や、学生の勉強に活用できるスペース。• 机、椅子等の家具に加えて、電源やWi-fi等の情報環境を整備する。

※上記に示すものは現時点での想定であり、今後の検討により変更する可能性がある。